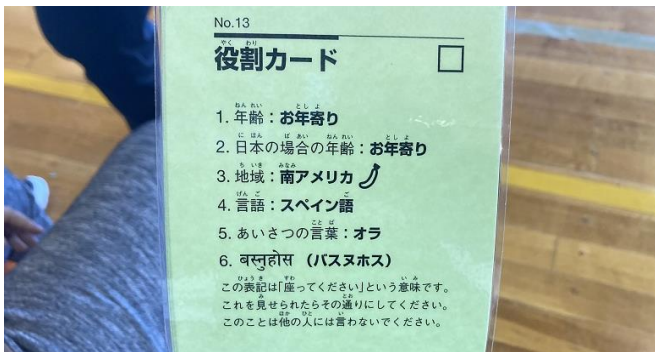


6生 国際社会に目を向けて

国際協力機構(JICA)北海道より講師をお招きし、6年生が世界に目を向けながら「世界が100人の村だったら」の講座を受けました。世界の人口約79億の人々を参加児童43名に縮め、楽しく奥深いワークショップを通して、子どもたちの意見や考えを交流し、特に、身体を使いながら世界の格差や多様性を体感する授業となりました。「今の幸せが当たり前じゃない」「世界が今どのような状況なのかよく分かった」、「社会にある問題を、どう解決できるか考えたい」などの感想を持ち、国際社会の仕組みや国際協力の基礎を学びました。



■役割カードを基に多様なワークショップが進められました



■世界6大陸ごとの人口比に別れ班を作りました

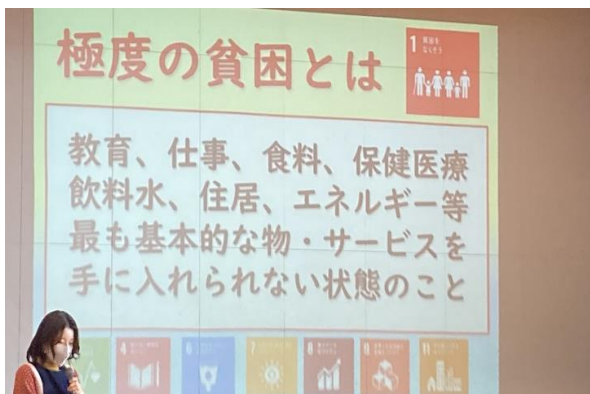
■班の人数より多く配られたチョコ…他の班へ援助しました

【文字が読めない人が多い国】

順位	国名	識字率	地域
1位	南スーダン	27%	西アフリカ
2位	アフガニスタン	28.1%	南アジア
3位	ニジェール	28.7%	西アフリカ
4位	ブルキナファソ	28.7%	西アフリカ
5位	マリ	33.4%	西アフリカ



■文字が読めないと…“どんなことに困るか”を菓の購入する場面などを通して学びました



■79億人を100人に縮小して…世界の情勢をいろいろな視点から見ることの大切さを学びました